

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】 平成 29 年度

| | | | |
|---------|------------------|------------|---------------|
| 事業所番号 | 2774600429 | | |
| 法人名 | 医療法人 養心会 | | |
| 事業所名 | グループホームローズガーデン国分 | | |
| 所在地 | 大阪府柏原市旭ヶ丘4丁目8-3 | | |
| 自己評価作成日 | 平成 29年 6月 10日 | 評価結果市町村受理日 | 平成 29年 7月 31日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|---|
| ①入居者様に合わせたケア。 ②入居者様と職員と共に作業をし、達成感得れるものを提供し、共有して楽しんでいます。 ちぎり絵、カレンダー作り、花、野菜作り、家事作業など。 |
|---|

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokansaku.mhlw.go.jp/27/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=2774600429-00&PrefCd=27&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内 | | |
| 訪問調査日 | 平成 29年 6月 28日 | | |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|--|
| 精神科専門病院が母体の医療法人が運営するグループホームで、平成14年に設立して15年目を迎えています。法人病院のバックアップと併せて運営している老人保健施設や訪問看護ステーションと連携して、認知症の対応に専門医や看護師の協力を得て支援しています。緑が多く豊かな自然に恵まれた静かな環境の中で、利用者は散歩の時に職員に花の名前を教えたり、役割を持って可能な限りできることや習慣・好みを継続しながらゆっくりのんびり生活しています。管理者はホーム運営の調整に努めながら利用者の穏やかな暮らしを支えています。職員は利用者との日々のコミュニケーションの中で何が必要かを見極め、利用者が本当にしたいことを表出できたり、思いを気軽に話してもらえるような関係を構築できるように利用者に関わりながら支援しています。 |
|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 「認知症の状態であっても、一人の人として人格を認め、その意思を尊重し、地域社会のつながりを大切に個々に有する能力に応じた自立した日常生活を支援することを理念としている」と、理念を玄関と詰所に掲示し、共有できるようにして実践につなげている。 | 開設当初より定めた理念を玄関や各ユニットに掲示しています。毎月1回発行する広報誌「ローズガーデンだより」にも掲載し、理念の周知を図っています。年2回の管理者と職員の個人面談の際に理念に基づいた実践の振り返りと確認を行っています。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の青年団による太鼓演奏やフラダンスなどのボランティア訪問があります。 地域の中学生の職業体験、学生の実習受け入れも行っていきます。 地域子供会の廃品回収に古新聞に提供など、地域との交流を深めている。 | 地域の夏祭り、秋のだんじり祭りには地域の青年団や子ども会がホームに立ち寄り、利用者との交流を図っています。 利用者が散歩や買い物に出かけた際には住民の方から気軽に声をかけてもらえる関係ができています。ホームが主催する地域住民を対象とした認知症の勉強会のチラシ案内を自治会の回覧板で周知してもらったり、災害時などはホームに避難できることを伝え、地域住民にとっても頼れる施設として周知されています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている | 認知症サポーター養成講習に参加し地域の方々と共に認知症に対する理解を深めています。 地域での事例発表も行っています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 入居者様の日々の過ごし方、健康状態などを報告し、意見、地域の情報提供をして頂き認知症カフェにも参加させて頂いています。 | 運営推進会議は2カ月に1回開催し、民生委員、自治会長、市担当課職員、地域包括支援センター職員が参加しています。ホームの運営状況や事故報告等を話し合い、意見交換をしています。家族には会議録を送付する際に、次回開催案内を同封し参加の呼びかけを毎回行っていますが、参加が難しい状況です。今後もさまざまな工夫をして家族の参加につながるよう働きかけを継続していく予定です。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 事業所としての窓口は、管理者が連絡をとっています。 | 運営推進会議に市職員の参加があり、ホーム運営について相談やアドバイスを 得る機会となっています。市のグループホーム連絡会に参加して、市民向けの認知症に関する講演会の企画や運営に賛同して取り組んでいます。また、お互いの施設見学を実施するなどの交流ができています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>虐待、身体拘束委員会にて具体的な禁止行為についてのマニュアルの整備、内部研修に取り組んでいます。身体拘束しないケアの大切さを認識しています。</p> | <p>「身体拘束廃止に関するマニュアル」を整備しています。研修にも参加して職員は身体拘束について理解しています。玄関は施錠していますが、利用者の行動に対して制限しないように気を付けて、外出したい様子の利用者には、職員が付き添って散歩に出かけたり、玄関前の花壇の水やりを誘うなど、閉塞感を感じさせないケアに努めています。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>虐待委員会を設け月1回の会議を開き、職員にも周知してもらえるようにユニットに虐待防止のお知らせを掲示しています。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p> | <p>社会福祉協議会の方が月に1度来所されて活用させて頂いています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約、解約、改定の際には、十分な説明を行い、同意して頂いています。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>面会に来られた際に入居者様の日々の過ごし方や健康状態を伝え、家族様の要望等を聴く様になっています。</p> | <p>玄関に意見箱を設置して、利用者や家族等がいつでも意見が出しやすいようにしています。家族の来訪時には職員から声かけをして利用者の健康状態や日々の様子を報告し、意見の聴取に努めています。今後、家族に介護計画書を送付して同意を得る際には、意見や要望を記入して返送してもらえるように取り組む予定です。</p> | |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>月1回のユニット会議を設けて管理者にも参加してもらい職員の意見を聴くようにしています。</p> | <p>管理者は、職員に年2回面談を実施するほか、ユニット会議等で職員の意見を聞く機会を設けています。職員は感染委員会やレク委員会で意見や提案を出しています。管理者は職員がいつでも意見や要望を言えるように努めて、サービスに反映できるようにしています。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 12 | | <p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p> | <p>各職員に業務の担当制を設けやりがいや責任の大切さ等を理解してもらえるようにしています。チームワークを重視して連携を行っています。</p> | | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>外部研修を受けた職員が他の職員に伝達し、周知できるようにしています。また、内部研修で職員間でも共有できるようにしています。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>事業所連絡部会で他の事業者の業務の取り組み等の内容を参考にしています。</p> | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>環境が変わり、不安な思いを抱えたご本人の気持ちを理解し、ゆっくり会話してコミュニケーションを図っています。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居される前に面談を行い ご本人の話や家族様の要望など時間をかけて話を聴いて日々のケアにつなげています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 家族様との話の内容で緊急性がある際には、支援できるように取り組んでいます。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 日々、関わりを保ちながら、家事作業を手伝っていただいています。また、職員から、感謝の気持ちを入居者様へ伝え一緒に何か成し得た喜びを共に分かち合うよう心掛けています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 体調に変化が見られたら、状態を詳細に報告したり、ご本人の思いを家族様にお伝えして協力をして頂いています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族様やご兄弟、友人の方が快い気持ちで面会にきて頂ける様環境や雰囲気づくりに努めています。 | 職員は、利用者の家族や以前入居していたグループホームの友人の来訪を快く受け入れて、馴染みの関係が途切れないよう図っています。図書館に通ったり、家族と馴染みの美容室に外出する利用者もいます。遠方の友人とはがきのやり取りをする時の支援もしています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 入居者様同士での会話の際、その会話が成り立たない時は、職員が間に入りて和ができるように心掛けています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退居された後も入院されている病院へ面会に伺ったり、電話で状態をお聞きし、相談を受けたりして対応をしています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ご本人の意思を尊重し、本人のペースに合わせて対応していますが、放置にならないように注意をして様子観察をしています。 | 職員は日々の関わりの会話の中から利用者一人ひとりがどのように暮らしたいか意向や思いを把握してケアに活かせるようにしています。発語が難しくなるなど重度になっても、しぐさや表情からどんなに小さなサインでも汲み取るように努めています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 在宅時に使用していた馴染みのものや家族の写真など持参して頂いています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | その日の状態を把握し、本人のペースに合わせた生活をして頂けるようにケアを行い、職員間で共有をしています。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 職員との情報交換を行い、ケアについて話し合いの場を設け、内容をケアプランに導入しケアに取りいれています。 | アセスメント、モニタリング、家族の意見や要望を基にカンファレンスを実施して本人のニーズに沿った介護計画書を作成しています。モニタリングは3ヵ月毎に行い、介護計画書は基本的には概ね6ヵ月を目処に見直しを行っており、利用者の状態の変化に合わせて随時見直しを実施しています。計画書に連動した「サービス実行・モニタリング記録票」で実施状況の確認とチェックができるようにしています。利用者毎の介護記録ファイルにも介護計画書を綴じて、職員がいつでも確認しながらケアが行えるようにしています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の変化の気づきを話し合い 気づきノートに記入したりその都度 個別記録も活用し職員間で共有し 対応しています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに 捉われない、柔軟な支援やサービスの 多機能化に取り組んでいる | ご本人のその時のニーズに応じた 対応をして生活を送って頂いていま す。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の青年団との交流やボランティアの方と交流、 レクリエーションを楽しまれています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>定期的な往診の他に常に主治医と連絡が取れる体制であり、状態によっては、すぐに対応してもらっています。</p> | <p>受診は家族・利用者の希望する医療機関を選択できるようにしています。入居前からのかかりつけ医に家族と受診する利用者もいます。ホームの協力病院の医師が主治医となり、定期的な往診があります。法人内の訪問看護師が週に2回健康管理を実施しています。24時間オンコール体制も整備し、緊急時の対応に備えています。歯科医の往診も週に1回あり、利用者は予防歯科としての口腔ケアや義歯の調整と必要に応じて治療を受けています。</p> | |
| 31 | | <p>○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>訪問看護師に報告、相談をしています。また、緊急の場合には、看護師に報告後、他の病院へ受診に行っています。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p> | <p>日々の状態と様子が、異なる時点で受診をしています。 入院の際には、週1~2回の間隔で病院へ行き、現状を確認しています。場合によっては、家族に代わって病状を聞き家族に連絡することがあります。</p> | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>重度化した場合や終末期のあり方については、家族様に説明しています。主治医、管理者、リーダー、ご家族と共に話し合いの場を設けています。</p> | <p>重度化、終末期の対応については、利用者・家族がどのような支援を望んでいるのかを確認するとともに、入居時に急変時対応確認書、重度化した場合の対応に係る指針でホームの方針を説明しています。重度化や終末期に際しては、主治医や看護師の協力を得て、状態の変化に応じて協力病院に搬送しています。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>年に1回救急救命処置やAEDの取り扱い方も含めて講習の実施をしています。</p> | | |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>年に2回避難訓練と消防訓練を実施しています。</p> | <p>災害対策については、火災・土砂・地震災害対応のマニュアルを整備しています。消防署に消防計画を提出しています。年2回消防署立会いのもと、避難訓練を実施していますが、日中想定のため、夜間想定避難訓練を計画する予定です。備蓄は飲料水・野菜シチューの缶詰などを賞味期限を確認して準備しています。</p> <p>近隣の住民に災害時に避難の受け入れができることを伝えています。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | トイレ誘導時の言葉掛けや居室へ入る時、また更衣を介助している際には、プライバシーに配慮して自尊心を傷つけないように対応している。 | プライバシーの保護については研修で周知徹底を図り、排泄の時の声かけにおける声のトーンに気を配るなど、利用者の尊厳に配慮しています。管理者は介助時の職員の言動が気にかかった時には、利用者の肩を優しくトントンする等、さりげない声かけの方法について、職員に個別に伝えてケアの向上に努めています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 表情や雰囲気を見て、さりげなく声を掛けたり、着替えの際には、本人に選んでもらったりしています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人一人の生活リズムを大切に、就寝時間や起床時間も異なっています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 2か月に1回訪問理容が来られ、散髪、ヘアカラー、顔そりをしてもらっています。毎朝、整髪の確認、介助を行っています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 入居者様と職員と共に食事の準備や片付けを行っています。 | 食事は決まったメニューの食材が業者から届き、ユニット毎に職員が調理しています。利用者の身体の事を考慮して、メニューによっては昼食と夕食の副菜を入れ替えて、昼食が揚げ物などの副菜になるよう工夫しています。誕生日会には誕生日の利用者に食事の希望を聞いて、必要な食材を共に考え、買い物して調理をしています。誕生日の手作りケーキも恒例になっています。調味料やおやつも利用者と買い物に行っています。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事の摂取量、水分の摂取量が普段より少ない時は、様子観察をして申し送り、職員全員で周知しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 食後の口腔ケアの声掛けをして出来ない時は、介助を行っています。月4回訪問歯科による口腔ケアをおこなっています。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 日中は、トイレでの排泄を基本としています。排泄チェック表に記載して一人一人の排泄パターンを把握してトイレ誘導を行っています。 | 排泄チェック表で確認を行い、排泄のパターンを把握して、日中は可能な限りトイレで排泄ができるようにしています。リハビリパンツを使用している利用者も数名おり、利用者一人ひとりの状態に合わせた排泄を支援しています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 食後のトイレ誘導時、腹部マッサージや体操で身体を十分な水分補給に努めています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 本人が入りたい時に入浴して頂いています。また、拒否される時は、少し時間をおいてから再度声を掛けたり、別の職員と交代して誘うなど工夫をしています。 | 利用者の体調や気分を考慮しながら、週に2～3回入浴できるように支援しています。入浴を拒否される場合には、時間や声かけに工夫をして入浴してもらうようにしています。炭酸泉が設置されており、シャワー浴の時や足浴のみの時に使っています。ゆず湯や入浴剤で季節感や気分転換を図って入浴を楽しめる様にしています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している | 本人のペースで休息したり、就寝 時間も本人の生活リズムに合わ せて支援を行っています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る | 主治医から説明を受け効能と内 容や副作用を把握し、体調の変 化に気づけるように努めていま す。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている | 歌や体操、その他レクリエーシ ョン時には、ドライブ、外出を して気分転換ができる支援を しています。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望によ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。又、普段は 行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している | 季節の花の鑑賞に出かけたり、 図書館、選挙の投票にも参加 できるよう支援しています。 | 利用者は日常的には近くを散歩 して自然を感じています。行事 で花見に出かける他、図書館に 通ったり、食材の買い物も兼 ねて外出をしています。時には ホームの駐車場でおやつを食べ ながら外気浴をしています。緑 の多い環境の中にあり、ホーム にも果樹が植えられています。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>買い物の際、入居者様に財布を預けて支払いをしてもらっています。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>手紙を書いてもらい一緒にポストにいれに行っています。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>温度調整は、温度計を確認した後に記録し、適温に設定しています。 共有ルームは、常に清潔にして安全に行き来できるようにしています。</p> | <p>広いガラス窓から緑豊かな景色が広がり、四季の移り変わりが感じられます。テレビや食卓テーブル、ソファなどが設置されたリビングダイニングで利用者は思い思いに寛いで日中を過ごしています。対面式のキッチンで利用者が調理の下ごしらえをしたり、職員と会話を交わしています。2階のエレベーターホールには書棚とテーブルと椅子が設置され、読書コーナーになっています。庭には柿などの果樹があり、外気に触れながら季節を感じるすることができます。</p> | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>食堂の椅子やソファーに座り、個々に思い通りに過ごして頂き、新聞やテレビを観て過ごしたり、玄関の大きな窓の所に椅子を並べて、いつでも座って景色を眺めたり、独りになれたりできる空間づくりをしています。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>いつでも眺める事ができるように家族の写真飾ったり、本人のなじみの物を使用して頂いています。</p> | <p>居室には利用者が永年愛用している調度品が持ち込まれ、利用者の塗り絵作品やぬいぐるみなどが趣味や好みに合わせて飾られています。居室の入り口に利用者が好きな絵を切り抜き、配置も考えて飾りつけをしている部屋もあり、利用者毎にその人らしい居心地の良い空間になっています。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>タンスの引き出しに名札を貼って中に何が入っているのかわかるようにしています。</p> <p>また、居室がわかるように表札を貼ったり工夫しています。</p> | | |